



▲動画配信が見られます

議員のつぶやき

特色ある教育を柱に
さらなる工夫で移住
定住を推進したい



たむらなみゆき
田村 浪行

行政の効率向上の取組みについて

質問 データを根拠に施策を進める考えは

町 ▶ EBPMの有効性は認識している

問 少子高齢化が進む中で将来を見据えた
※1 EBPMを進める考えは。

〔副町長〕

答 情報統計等のデータを活用した EBPMの推進は、政策の有効性を高め町民の信頼確保につながるものと認識しているが、あらゆる情報を調査し政策を進めるには、時間的、資源的にも困難である。まずは状況に応じた政策構築も必要。

※1…(エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング Evidence-Based Policy-Making) 合理的根拠に基づき、より実行性の高い政策を立案すること。

問 地域住民の幸福に資する具体的な要素である「健康・文化・仕事・生活・教育」の分野における満足度データを活用して施策を進める考えは。

答 〔企画財政課長〕

第7次那須町振興計画策定時に、町民意識のアンケート調査を実施し各種施策を定めている。住民にとって何が必要か、何を求めているのかを適切に把握することが重要であると認識している。

魅力ある町づくりの取組みについて

質問 教育を柱とした町づくりは

町 ▶ 町発展の原動力となる人づくり

問 魅力ある町づくりに教育を柱として取り組む考えは。

答 〔教育長〕

教育の基本理念である「夢・感動あふれる人づくり」の実現に向けて、妊娠期から生涯にわたってのライフステージ別に、将来の発展のための原動力となる人づくりを推進している。

問 若者が町にUターンやIターンを促進する奨学金返還の支援策は。

答 〔学校教育課長〕

移住定住策としての奨学金返還の支援は、本町に在住し既に奨学金の返還をしている方との公平性等を考慮し、今後は他自治体の動向を注視しながら慎重に検討していく。

問 放課後児童クラブ内でWi-Fiの整備はされているのか。

答 〔こども未来課長〕

数カ所のクラブの保護者会では設置をした。なかにはタブレットを壊してしまう可能性があるため、あえて設置はしていないクラブもある。



◇ほかに「県の子ども医療費助成」についても質問をしています。